

## 北海道地方ダム等管理フォローアップ委員会（第49回）議事要旨

1. 日 時：令和6年2月27日（火）10時00分～15時00分
2. 場 所：北海道開発局研修センター 2階 第2・3教室
3. 出席者：黒木委員長、赤坂委員、岡村委員、中井委員、根岸委員、松井委員、丸谷委員、山下委員
4. 議事要旨

滝里ダム・金山ダムの定期報告書（案）について説明を行った。

各委員からの主な意見は以下のとおりである。

### ●滝里ダム定期報告書（案）について

#### 1) 堆砂について

- ・堆砂量が計画を上回るペースで推移しているため、堆砂対策の検討を行うことが望ましい。
- ・堆砂状況の整理においては、堆砂測量方法に変更があった場合はその旨が分かるよう表記することが望ましい。（金山ダムも同様）

#### 2) 水質について

- ・カビ臭物質については、今後も調査を継続するとともに、関係機関と連携を図りカビ臭が発生した場合は適切な対策を講じていくことが望ましい。

#### 3) 水源地域動態について

- ・ダム周辺の整備状況の説明について、多くの市民に利用されていることが分かる表現を追記して、地域への貢献度が示せるような記載とすることが望ましい。

#### 4) 景観について

- ・周辺施設の管理者と整備目的を共有した協力体制を構築し、景観・サインガイドラインの検討等を行うことが望ましい。

### ●金山ダム定期報告書（案）について

#### 1) 水源地域動態について

- ・金山ダム及びかなやま湖は、イベントのほか日常的にも利活用されており、地域住民にとってかけがえのない地域資源となっていることから、今後も地域の観光振興への協力を継続して欲しい。
- ・ダムの地域への貢献度が伝わるよう、地域の教育やスポーツ活動の施設として利用されている旨を記載しておくことが望ましい。

#### 2) 景観について

- ・経年劣化した施設の更新時には、景観に配慮した改修、サイン整備が行われるよう、各施設

の管理者との情報交換を行って欲しい。

○上記の意見を踏まえて滝里ダム・金山ダムの定期報告書を作成する。